

(6月10日) : 後場に上げ幅縮小も上昇して取引を終える

大型株の上昇からベトナム市場は月曜日に上昇して取引をスタートさせたが、後場には動きがなくなった。

VN 指数は 0.48% 上昇し 962.90 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン市場では 158 銘柄が上昇し 132 銘柄が下落した。

1 億 5500 万株が取引され、売買代金は 3.8 兆ドンほどであった。

先週同指数は 0.17% ほど下落した。

保険、証券、不動産、石油、採掘、小売り、IT などのセクターが前場に大きく上昇していた。

それらのセクター指数は 0.36% から 0.76% ほど上昇した。

前場には VN 指数は大きな買い需要から上昇した。ベトコムバンク (VCB)、ビンググループ (VIC)、ペトロベトナムガス (GAS) のような大型株に注目が集まった。後場には前場の上昇トレンドが縮小した。ビンホームズ (VHM)、テクコムバンク (TCB)、エクシムバンク (EIB) などへの売り圧力が高まったためであった。

VN30 指数は 0.34% 上昇し 872.49 ポイントで取引を終えた。30 銘柄の内、18 銘柄が上昇した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.2% ほど下落し、103.99 ポイントで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は先週合計で 0.13% ほど下落していた。

出来高は 2070 万株で売買代金は 2430 億ドンであった。

外国人投資家は 1745 億ドンをホーチミン取引所で買い越しした。ビンググループ (VIC) (541 億ドン)、ベトコムバンク (VCB) (194 億ドン)、ペトロベトナムパワー (POW) (183 億ドン) などに注目が集まった。さらに、ハノイ取引所でも 35 億ドンを買い越ししていた。

バオベト証券 (BVSC) によると、株式相場は 965-968 ポイント付近で高いボラティリティと調整を繰り返している。

“もしもこのゾーンを通過できれば、次の抵抗線は 977-983 ポイント付近になる。この抵抗線は強い抵抗線として指数に立ちはだかることになる。それゆえに、市場はこの抵抗線で跳ね返されるかもしれない”と同社は語った。

資金はマクロ経済面で恩恵を受ける繊維、工業団地、不動産、電気、IT などのセクターに循環していると同社は述べた。

銀行株は抵抗線まで上昇しており、横ばいで動くことが予想される。石油ガス関連銘柄も反発に伴いボラティリティが高まることが予想されている。

投資家は株式投資比率は 30-40%程度にとどめるべきである。投資家は高値掴みを避け、965-968 ポイントでは株式を売ることを考えるべきであるかもしれない。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。